

「来年度の志願予定者に対し潜水艦見学」



「記念撮影」



「艦内へ潜入」

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長：東3海佐）は、3月21日（水）海上自衛隊第2潜水隊群の協力を得て、来年度の志願予定者を含む23名に対し米海軍横須賀基地に所在する潜水艦「うずしお」の特別公開を行った。

この日の天気は朝から雨であり、見学途中から雪が降るといふ悪天候に見舞われながらも実施された。

参加者は、室内で概要説明を受けた後、外に出て潜水艦の外観説明を受けた。概要説明では、潜水艦の仕組みを知り興味津々に聞いていたが、いざ潜水艦を目の前にすると「これが潜水艦!?」という反応を示していた。その後、艦内に入り込む際10メートルの垂直ラットルを見て、とても驚きつつも艦内に入ると通路の狭さや機械の多さに更に衝撃を受けていた。

参加者からは、「将来は潜水艦に乗りたい」「海上自衛官を目指したい」などの声が聞かれた。

横須賀地域事務所は、「今後も、積極的に部隊と一体となって志願者獲得を目指し、自衛隊に興味を持ってもらえるような募集活動をしていきたい」としている。

神奈川地本広報センターイベント 「潜水艦見学ツアー」を実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資1等海佐）は3月24日（土）、神奈川地本広報センターイベント「潜水艦見学ツアー」を実施した。

ツアーは、公募から抽選で選ばれた募集対象者20名が参加し、当日は米海軍横須賀基地内にある第2潜水隊群の協力を得て実施された。

初めての経験で不安な面持ちであった参加者も、米海軍横須賀基地入門時に第2潜水隊群の隊員から、「カリフォルニアへようこそ!」の第1声により、一気に緊張がほぐれていった様子であった。

次に、第2潜水隊群隊員による懇切丁寧な概要説明を受けた参加者たちは食い入るように聞き入り、潜水艦見学への期待をふくらませていた。

その後に第2潜水隊群所属の潜水艦へ実際に乗り込み、案内役の隊員から艦内の仕組みなどの説明を受けた。

参加者たちは、普段絶対に目にするのでできない潜水艦内部を見学したり、潜望鏡を実際に操作する等の貴重な体験を通じて、「狭くて大変そう」「バルブやボタンが一杯あり、回したり押ししたりしてみたくありませんでした!」との声が聞かれた。また、「女性も潜水艦勤務はできますか? 私も自衛官になって潜水艦に乗りたいです!」との声も聞かれた。

潜水艦見学の後は、マイクロバスに乗りしながら米軍基地内を見学し、フードコートに立ち寄り、非日常の場所にながらも見学ツアーを思い思いに楽しんでいた。

神奈川地本は、「今後も、部外者に対し自衛隊をアピールできる各種イベントを積極的に計画し、募集及び防衛基地の拡充に努力していく」としている。



概要説明



潜水艦の説明を受ける参加者



集合写真